

月刊しばうら

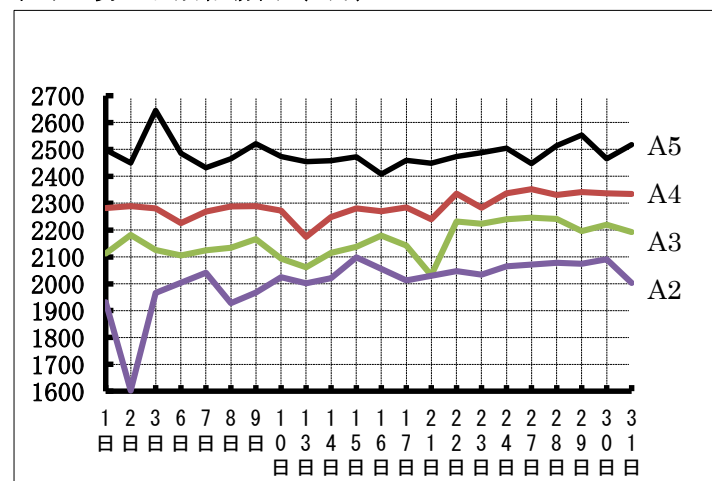
2015年 8月号

大動物事業部

< 7月の相場動向 >

5月の連休明け以降、和牛をはじめ国産牛肉の消費が鈍化したことにより高値で張り付いていた6月の牛枝肉相場は、和牛・交雑種ともに、下げの相場展開となった。割安感のある国産牛肉として前月には急伸し、高値を維持していた交雑種も末端消費が追いつかず下方修正された。全国的に牛飼養頭数及び出荷頭数の減少傾向が継続する中、品不足感は強くなる一方、不需要期の6~7月は入梅時期により天候不順などで末端消費が伸び悩んだ。量販店での特売頻度は少なく、牛肉売り場は縮小されている。総務省統計局の6月の家計調査によると牛肉の購入量は前年に比べ2けた台で大幅に落ち込んだほか、支出金額も前月に続きマイナス基調となっている。梅雨が明け7月下旬には若干の反発もあり、7月の牛枝肉相場は前月比で和牛・交雑種とも保合いの相場となった。

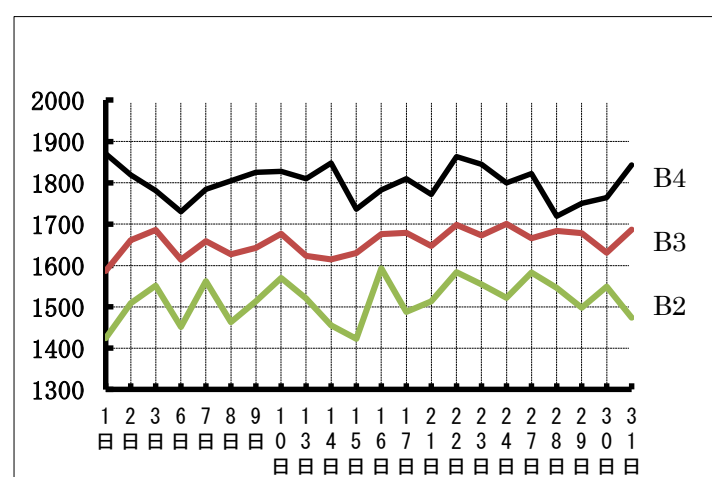
和牛去勢 日別相場表 (7月)



和牛去勢 (月平均)

A5	2,495円 (前年同月比 116.0%) (前月比 101.5%)
A4	2,293円 (" 124.1%) (" 101.2%)
A3	2,166円 (" 128.9%) (" 101.6%)
A2	2,010円 (" 133.6%) (" 100.0%)

交雑去勢 日別相場表 (7月)



交雑去勢 (月平均)

B4	1,801円 (前年同月比 129.4%) (前月比 103.3%)
B3	1,661円 (" 134.2%) (" 101.0%)
B2	1,514円 (" 136.2%) (" 99.1%)

乳牛去勢 (月平均)

B3	-円 (前年同月比 -%) (前月比 -%)
B2	1,070円 (" 135.3%) (" 95.3%)

< 8月の牛肉輸入量予測 >

単位：t

輸入牛肉通関量		6月	前年同月	前年同月比
フローズン	豪州	13,833	14,426	95.9%
	米国	5,749	7,450	77.2%
	その他	2,212	3,946	56.1%
	合計	21,794	25,822	84.4%
チルド	豪州	11,492	9,936	115.7%
	米国	4,981	7,656	65.1%
	その他	862	717	120.2%
	合計	17,335	18,309	94.7%

出典：食肉速報

6月の牛肉輸入量は前年比11.3%減の3万9,129トンで、1月~6月の上半期では2.4%増の24万2,723トンとなった。米国産チルドは、現地相場高が続いているため輸入量は減少し豪州産への移行が顕著となった。フローズンは、4月の大量輸入などで豪・米国産共に減少に転じた。農畜産業振興機構予測による8月の輸入牛肉入荷量は、4万3,000トン(前年同月比26.0%減)でうちチルドが1万8,300トン(同4.1%減)、フローズンが2万4,400トン(同36.9%減)と予測している。

< 8月の全国出荷頭数予測 >

農水省の食肉流通統計によると、6月の出荷頭数は前年同月比0.7%減の8万9,067頭であった。品種別では、和牛が3万8,121頭で1.7%減、交雑種が1万8,012頭で3.1%減、乳牛去勢は2.9%減の1万7,714頭であった。出荷頭数は畜種を問わず離農の進行により減少傾向が継続している。農畜産業振興機構の予測による8月の全国の肉牛と畜頭数は前年比0.4%減の8万8,100頭の見込み。内訳でみると和牛が2.6%増の3万7,900頭、乳用種が0.1%増の3万1,800頭と前年を上回るが、交雑種は6.9%減の1万6,800頭で7・8月と減少との予測をしている。8月の東京食肉市場のと畜予定頭数は、旧盆休みの直前は頭数換算には含みづらく19日稼働で7,050頭前後である。

< 8月の牛枝肉相場見通し >

8月の牛枝肉相場は、全国出荷頭数の減少傾向が継続する中で、枝肉相場の下げの要素は少ない見込み。前半は旧盆前の手当て買いなどの動きもあり強持合いか。しかし、旧盆明けの需要が大幅に好転するような状況にはなく、再び弱気に転じる可能性もある。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,400~2,500	B4	1,700~1,800
A4	2,250~2,350	B3	1,600~1,700
A3	2,050~2,150	B2	1,500~1,550
A2	1,950~2,000		
乳牛去勢			
B3	1,050~1,100		
B2	1,000~1,050		

小動物事業部

食肉流通統計によると、6月の全国と畜は129万5,927頭(前年同月比103.6%)となり前年より増加した。

また、6月分の豚肉通関実績は、総量で6万4,581トン(前年同月比97.4%)と前年より減少した。うちチルドは2万4,557トン(同112.5%)と増加し、米国が1万4,421トン(同104.6%)、カナダは9,070トン(同131.9%)と増加したが、メキシコが1,062トン(同91.6%)と減少した。フローズンは、4万24トン(同90.0%)と前年を下回り、デンマークが9,000トン(同86.5%)、米国が6,473トン(同83.1%)、カナダが4,245トン(同94.8%)、メキシコが4,738トン(同90.0%)であった。

< 7月の豚取引の推移 >

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	41,500	616	599	634
2日	61,000	632	622	730
3日	60,300	640	624	842
6日	60,300	659	635	623
7日	61,600	676	660	1001
8日	53,800	670	649	719
9日	62,500	648	633	602
10日	55,500	658	638	722

上旬の全国と畜頭数は日によっては6万頭を割り込み、不安定な出荷頭数となった。当市場の上場頭数も平均730頭と前年並みの上場頭数であった。末端需要は鈍いものの、北関東の産地などでは出荷頭数が減少していたことから上物価格は610~670円と価格は上昇してきた。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
13日	60,100	670	651	625
14日	62,200	663	636	1002
15日	58,700	653	625	615
16日	62,000	644	618	716
17日	59,100	651	618	799

中旬の全国と畜頭数は平均6万400頭であった。当市場は、平均で630頭の上場頭数となり前年を下回った。

輸入品も北米産中心に在庫がひっ迫している状況下で国産品に一部シフトが見られ、ロース、カタロースの引き合いが強くなった。また動きの鈍かったバラも気温が上昇してきたこともあり「冷しゃぶ」需要などで動きが見られた。また、3連休の手当てもあり、当市場の上物価格640~670円で推移した。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
21日	71,400	673	631	652
22日	64,200	636	606	826
23日	62,300	630	610	631
24日	61,000	635	606	794
27日	57,700	622	588	749
28日	61,000	630	598	848
29日	52,900	627	605	619
30日	58,800	635	622	609
31日	57,700	637	621	853

下旬の全国と畜頭数も6万頭を割り込む日があったが当市場は平均760頭と前年並みの上場頭数となった。ロースやカタロースの引き合いも落ち着き、夏休みに入り学校給食がないことでスソ物の動きも鈍かった。ただ、全国的に出荷頭数も少ないことから相場は堅調に推移し、上物価格620~670円となった。

< 8月の豚枝肉相場見通し >

農水省による8月の全国と畜頭数は、123万9,000頭(前年同月比101.0%)と予測しており一日当たりの頭数は約6万1,900頭である。当市場の8月の集荷予定頭数は約1万5,000頭となっており、一日当たりでは約750頭の見込みである。

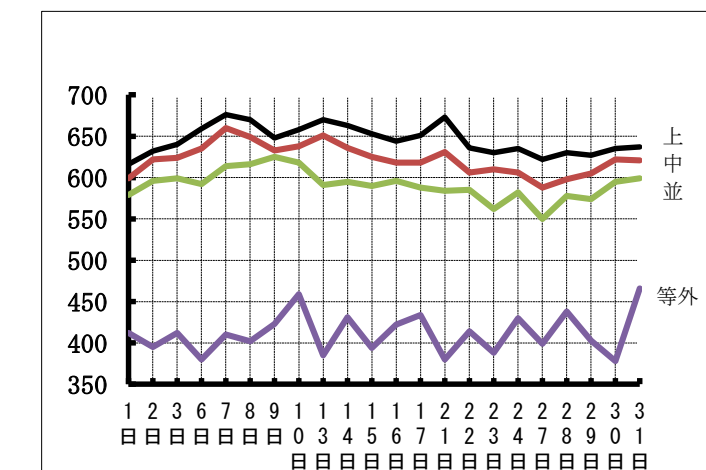
一方、農畜産業振興機構による7月分の豚肉輸入見込量は、総量で6万3,600トン(前年同月比71.0%)の予測となっている。内訳はチルドが2万4,500トン(同98.9%)、フローズンは3万7,200トン(同77.7%)の予測である。

また5月における豚肉推定在庫量は、国産品が1万6,730トン(前年同月比81.1%)、輸入は17万7,094トン(同113.7%)となり合計19万3,824トン(同109.9%)となった。推定出回り量は13万1,448トン(前年比99.5%)で、前年をわずかに下回った。うち国産品は6万8,405トン(同96.2%)輸入品は6万3,043トン(同103.5%)であった。国内生産量は6万8,436トン(同95.3%)と8か月連続で前年を下回り、輸入量は6万8,954トン(同95.2%)と7万トンを下回った。

このような状況の中、8月は引き続きPEDの影響で出荷頭数が少ない事に加え、梅雨明けからの猛暑もあり7月以上に少なくなることが予測される。

一方で輸入物について、7月生産分はコストも下がっているが入船遅れや在庫減で盆休み前の需要もあり、荷余り感はなさそうだが、通関量によっては休み前後で国産相場が動きそうだ。よって8月の加重平均は上物600円前後、中物580円前後と予測する。

豚日別相場表 (7月度)



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、東京食肉市場では防疫体制を強化しております。
来場の際における生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いたします。

東京都港区港南2-7-19
東京食肉市場株式会社
 TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127
 URL <http://www.tmmc.co.jp/>